Science as Method & Methodology for Problems on the Earth & Life

運営委員長 中尾央（総研大）、丸山茂徳（東工大）

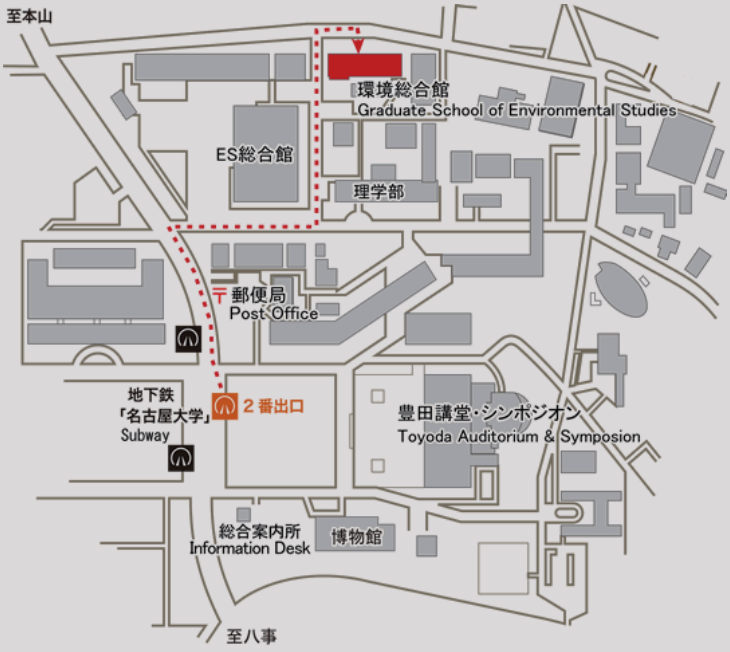
主要講演者：

丸山茂徳（東工大）・熊澤峰夫（名大）・唐戸俊一郎（Yale 大）・牧野淳一郎（東工大）
長谷川真理子（総研大）・戸田山和久（名大）

科学の進展にとって，方法の開発と方法論は極めて重要である．
多くの科学者が従来の方法では解決困難な問題に対処するための方法を新たに開発し，
その妥当性を方法論によって論じ，
また多くの科学者がその方法を実際に使って問題を解決してきた．
もちろん，この方法は解析・観察の方法などにとどまらない．
いわゆる知的分業とその総合という構造もまた，
科学が採用してきた問題解決方法の一つである．
さらに，科学は対象を選ばない．物理現象，生命現象，
さらには社会現象なども対象になる．
科学はさまざまな対象を理解するための方法と方法論である，
と言っても過言ではないかもしれない．

SPS

http://www.sxpxs.org

本研究会ではこうした科学の方法と方法論の最前線，歴史，哲学を扱う．
地球や生命といった現象はどのような方法によって理解できるのか．
様々な分野における知的分業・総合の構造はどのような問題を生み出し，
それを克服し，現在に至っているのか．
また，科学と社会という問題を理解し，
その狭間で生じる問題を解決するには
どのような方法を採ればよいのだろうか．
方法と方法論を様々な角度・対象に関して考察することで，
今後の科学の姿を考えることが，この研究会の目標である．

2013 年 9 月 15 日 (日)〜17 日 (火)
環境総合館 1 階レクチャーホール
（名古屋大学　東山キャンパス　環境学総合館）
お問い合わせ
mihara.y at info.human.nagoya-u.ac.jp（三原祐加）
プログラム
http://sxpxs.org/activities/workshop201309ja.html